

# 社会の変化の先頭に立ちチャレンジし続け、 新たな価値を生み続けています

1962年の前身としての創業以来、当社は時代の変化に合わせて機能性材料を開発・製造・販売し、デジタルテクノロジーの進化を支えてきました。今後も企業ビジョン「Value Matters 今までなかったものを。世界の価値になるものを。」のもと、社会に最先端の技術やソリューションを提供し、社会全体のデジタル化や社会課題の解決に貢献していきます。

2012

デクセリアルズ(株)に  
社名変更し事業開始

Dexerials

1962

ソニーケミカル(株)  
設立

Company

Products

1987

東京証券取引所  
市場第二部に上場



2000

上場廃止  
ソニー(株)の  
100%子会社となる

2006

ソニーケミカル&  
インフォメーションデバイス(株)に  
社名変更

1977

異方性導電膜(ACF)を  
業界にさきがけて製品化

樹脂のなかに導電粒子を持ち、  
導通と絶縁の特性を兼ね備えた  
フィルム型の接合材料として  
業界にさきがけて製品化



1994

表面実装型ヒューズの  
生産開始

リチウムイオンバッテリーの過充電、  
過電流を確実に遮断する二次保護素子  
として世界にさきがけて量産開始



2002

反射防止フィルムの  
販売を開始

ナノオーダーの膜厚制御技術と多層構造  
により、低反射と耐擦傷性に優れた  
ドライタイプの反射防止フィルム



2007

光学弾性樹脂(SVR)の  
生産開始

スマートフォンやタブレットPCなどの  
エアギャップを高透過率の弾性を持った  
樹脂で埋めることで、ディスプレイの  
視認性アップと薄型化に貢献



2008

無機偏光板の生産開始

優れた耐熱性・耐光性を持ち、  
プロジェクターやヘッドアップ  
ディスプレイ等の長寿命化、  
高輝度化に貢献





### 2015

- 東京証券取引所市場第一部に上場
- デクセリアルズ希望(株)事業開始

### 2016

栃木事業所稼働開始

### 2020

Dexerials Precision Components (株)設立

### 2021

本店所在地を栃木県下野市へ変更

### 2022

- (株)京都セミコンダクター子会社化
- 東京証券取引所プライム市場へ移行

### 2023

国内の管理職層に「ジョブ型人事制度」導入

### 2014

医療用アイシールド材「DxShield」生産開始

表面にナノレベル凹凸構造を形成することで、反射防止と高透明度を実現したモスアイタイプフィルム



### 2016

粒子整列型異方性導電膜(ACF)「アレイフィックス」を製品化

樹脂のなかの導電粒子を意図した位置に整列させることにより、狭小スペースでも多数の配線を安定して接続できる接合材料

### 2020

- 反射防止フィルム「HDシリーズ」を開発
- インクジェット塗布に対応した光学弾性樹脂「Jettable SVR」を開発

### 2021

蛍光体フィルム「PSシリーズ」を製品化  
直下型LEDバックライト搭載液晶ディスプレイのダイナミックレンジ拡大、広色域化および薄型化を実現

## TOPICS

### 本社・栃木事業所 レセプション棟の新設 ～ステークホルダーとのコミュニケーション施設～

2023年3月 本社・栃木事業所敷地内にステークホルダーの皆さま(お客さま、株主・投資家、地域社会、社員など)とのコミュニケーションを目的とした「レセプション棟」が竣工しました。

最大約150名が収容可能なホールを備え、当社グループの企業活動全般をより深く、より多くの方にご理解いただけるインタラクティブな展示コーナーを設置しました。同年6月には、第11期定時株主総会をこの地で初めて開催しました。そのほか、国内外のお客さまを始め、ゼミ活動やインターンシップの学生、

※ZEB: Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)、省エネと再生可能エネルギーにより、消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物

地域の商工会等、さまざまなステークホルダーとのコミュニケーションの場として活用されています。

また、建材として本店が所在する栃木県の特産である大谷石や日光杉を使用しています。さらに、このレセプション棟の外観は、当社の主要製品のひとつであるフィルムをイメージした当社らしい特徴的なものであり、太陽光パネルや自然風通などを活用し、ZEB\*基準を満たす、地球環境にもやさしい建築物となっています。

レセプション棟

株主総会

株主総会における見学会

社員家族を対象とした職場見学会

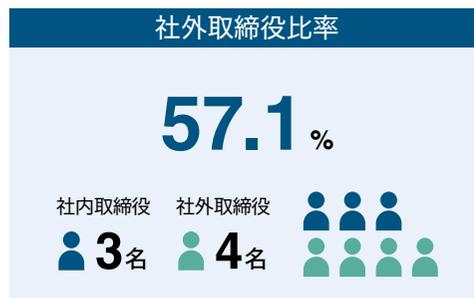
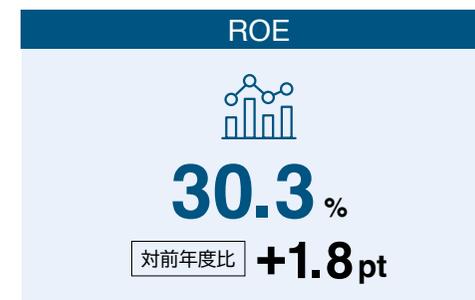
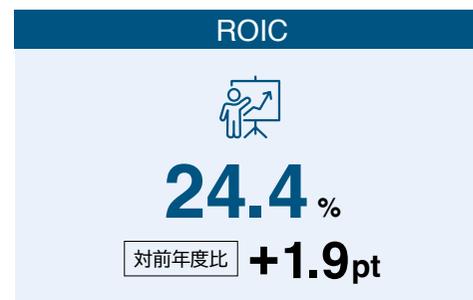
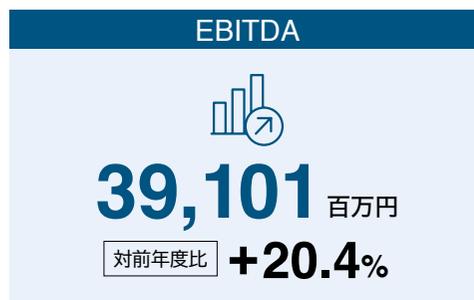
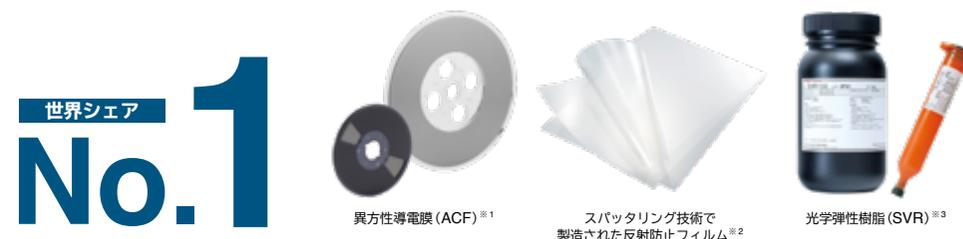
大学ゼミ活動での見学

展示コーナー

ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーション\*

※2023年9月末時点実績 36件

# Overview FY2022



※ 1 株式会社富士キメラ総研発行「2023 ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、大型および中小型ディスプレイ向け ACF の 2022 年の金額シェア。

※ 2 株式会社富士キメラ総研発行「2023 ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、表面処理フィルム (ドライコート) の 2022 年の金額シェア。

※ 3 株式会社富士キメラ総研発行「2023 ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、ディスプレイの貼り合わせで使用される光学用透明接着剤 (OCR) の 2022 年の金額シェア。光学弾性樹脂 (SVR) は、光学用透明接着剤の当社製品名です。

## 事業セグメント

(注) 各事業は業績開示におけるセグメントに該当し、売上高にはセグメント間取引が含まれています。



### 光学材料部品事業

〈売上高〉 **55,384** 百万円  
 〈営業利益〉 **17,969** 百万円  
 〈EBITDA〉 **20,142** 百万円

**51.8%**



### 電子材料部品事業

〈売上高〉 **51,495** 百万円  
 〈営業利益〉 **16,106** 百万円  
 〈EBITDA〉 **18,958** 百万円



当事業は光学フィルム、光学樹脂材料の2つのカテゴリーに分かれています。これらは反射防止フィルム、蛍光体フィルム、光学弾性樹脂(SVR)、精密接合用樹脂などで構成されています。特に主力製品である反射防止フィルムは、当社独自の技術がコンシューマーIT製品および自動車向けディスプレイの分野で高い評価を得ています。

当事業は異方性導電膜(ACF)、表面実装型ヒューズ、接合関連材料、マイクロデバイス、光半導体の5カテゴリーに分かれています。特に主力製品であるACFは1977年に業界でさきがけて開発・量産しており、高い技術、品質で世界市場において高いシェアを有しています。

#### ▶主要製品【カテゴリー】

**反射防止フィルム【光学フィルム】**

ナノオーダーの膜厚制御技術と多層構造により、低反射と耐擦傷性に優れたドライタイプの反射防止フィルムは、モバイル機器や車載ディスプレイの視認性向上に貢献します。また、当社の微細加工技術を活かし、低反射・高透過に優れたモスアイタイプフィルムは自動車用ヘッドアップディスプレイや医療用アイシールドにも使用されています。

**蛍光体フィルム【光学フィルム】**

緑色と赤色の蛍光体をフィルム内に分散させた「PSシリーズ」は、ディスプレイのバックライトに組み込むことで青色LEDを光源とする色表現に優れた高品質なディスプレイの実現を可能とします。

**光学弾性樹脂(SVR)【光学樹脂材料】**

スマートフォン、タブレットPCなどのディスプレイ内部にある隙間を光学高透過の弾性樹脂で充たすことで、視認性アップと薄型化を実現します。また、紫外線による硬化で粘着特性を発現し、作業性に優れた「ハイブリッドSVR」を中・小型FPD向けにラインナップしています。

**精密接合用樹脂【光学樹脂材料】**

精密接合用樹脂SAシリーズは、紫外線硬化、熱硬化、紫外線+熱硬化等さまざまな硬化システムを採用した接着剤をラインナップしています。低温、短時間硬化や低吸縮を実現し、カメラモジュールや光ピックアップなどの組み立て時の精密固定に適しています。

#### ▶主要製品【カテゴリー】

**異方性導電膜(ACF)【異方性導電膜】**

樹脂のなかに導電粒子を持ち、導通と絶縁の特性を兼ね備えたフィルム型の接合材料です。ディスプレイパネルやカメラモジュールなどを構成する電子部品の接続に使われています。また、狭小スペースでの実装が可能な粒子整列型ACFや、基板の形状や端子配置に合わせた形状加工ACFもラインナップしています。

**表面実装型ヒューズ【表面実装型ヒューズ】**

リチウムイオンバッテリーを過充電、過電流といった異常から確実に守る二次保護素子のセルフコントロールプロテクター(SCP)に加え、小型・薄型を保ちながら、過電流保護に特化した大電流対応のヒューズ、パワーカレントプロテクター(PCP)をラインナップしています。

**熱伝導シート【接合関連材料】**

CPUなどのICチップから発生する熱をすばやく冷却器に伝え、高温からデバイスを守ります。高い熱伝導率と柔軟性を兼ね備えた高性能タイプ、高性能・絶縁タイプ、標準タイプをラインナップしています。

**無機偏光板・無機波長板【マイクロデバイス】**

高温かつ高光量の環境下での長時間使用に耐える優れた耐久性を持ち、高い光線透過率と低反射率を実現した光学デバイスです。プロジェクターやレーザー光源を使用した光学ユニットの輝度向上や高コントラスト化に貢献します。

**光通信用デバイス【光半導体】**

光通信用デバイスは、移動体通信システムの進化、光ネットワークの拡大において欠かすことのできない製品です。5G通信用品に適した超高速のフォトダイオードをはじめ、受光モジュールや垂直共振器面発光レーザーなどをラインナップしています。

# デクセリアルズの製品は こんなところで使われています

わたしたちデクセリアルズの製品は、  
暮らしのなかの身近な電子機器に使われており、  
「利便性」や「安全・安心」を支えています。



煙感知器

## 光半導体デバイス

光信号／電気信号を光半導体で  
変換、身近なセンシングで活躍中。

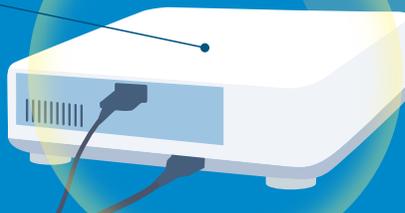


## 無機偏光板

優れた耐熱特性が、プロジェク  
ターの映像を明るくします。



プロジェクター



ノートPC

## 反射防止フィルム

表面のフィルムが映り込みを  
軽減、PC作業に集中できます。



# In your OFFICE



当社製品の詳細は  
ウェブサイトをご覧ください



当社グループ製品の詳細は  
ウェブサイトをご覧ください

### 異方性導電膜 (ACF)

電子ディスプレイには欠かせない、デファクトスタンダードの電子材料です。



スマートフォン

### 光学弾性樹脂 (SVR)

ディスプレイと表面板の隙間をSVRで埋めて視認性を向上させます。



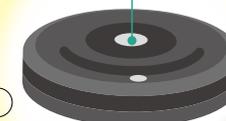
自動車

### 表面実装型ヒューズ (SCP)

コードレス機器のリチウムイオン電池を保護する目的で搭載され、充放電時に異常があれば回路を遮断し安全を確保します。



ロボット掃除機



# In your HOME

# Our Product

スマートフォンに欠かせないACF



## 異方性導電膜 (ACF)

樹脂のなかに導電粒子を分散させた特殊なフィルム型の接合材料です。当社の前身であるソニーケミカルが世界にさきがけて製品化、現在ではスマートフォンなどディスプレイを持つほぼすべてのデジタル機器に使われています。

### 〈特徴〉

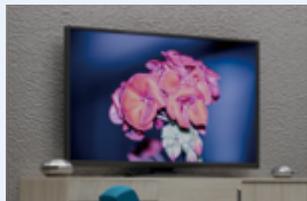
- 「接着」「導通」「絶縁」の3つの機能を一つの材料で実現
- 一度の接続作業で多数の電気回路を形成できる
- はんだ接合に比べ、微細な回路の接続(ファインピッチ接続)が得意
- 比較的低温(110～180℃)で回路の接続ができる

## ACFの誕生と拡がり

ACFは、今から40年以上前の1977年に、ICなどの電子部品を電気的に接続するためのフィルム材料として誕生しました。最初のACFは導電体に大きさ100ミクロンほどのカーボンファイバーを使い、電卓などの表示部など耐熱性の低いディスプレイ部品に採用されていました。



その後、液晶パネルの市場拡大とともに大きな進化を遂げ、特に2000年代初頭にそれまでのブラウン管テレビから液晶テレビへの移行が本格化すると、爆発的に需要が拡大。また、スマートフォンの登場によりディスプレイが高機能化。ディスプレイの進化を支えてきたACFは、今ではディスプレイに不可欠で、その性能を左右する、重要な材料となっています。



## ACFが切り拓く未来

当社はこれまで多くの技術革新を行っています。そのひとつが2016年に発表した粒子整列型ACFです。「粒子分散」から「粒子整列」という“接続をデザインする”領域に大きく踏み出し、より微細な回路接続の可能性を示しました。すでにお客さまの製品設計にも変化が生まれ、新たなアイデアにつながっています。当社は今後も技術革新のあゆみを止めることなく、お客さまの新たな価値創造を支援していきます。



### 異方性導電膜 (ACF)



# Financial Highlights

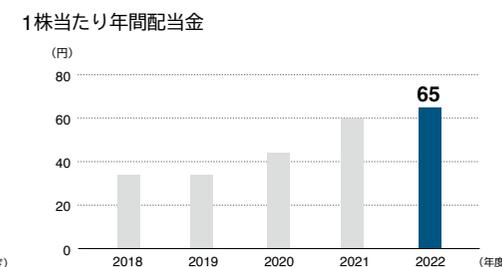
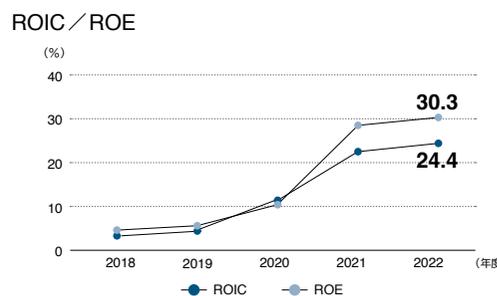
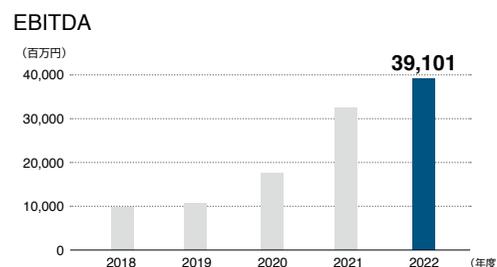
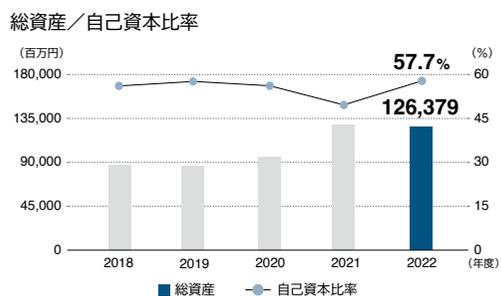
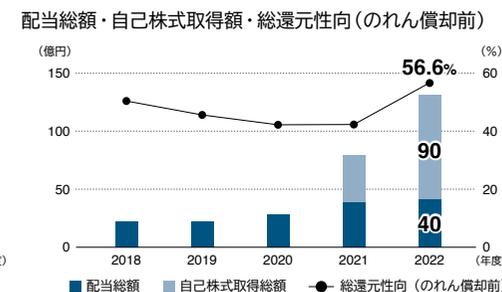
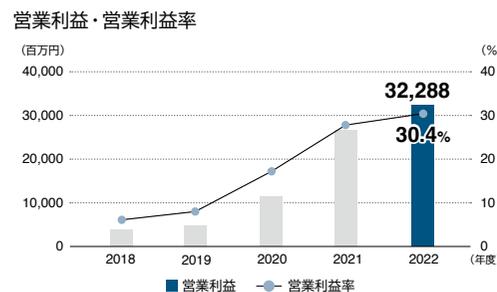
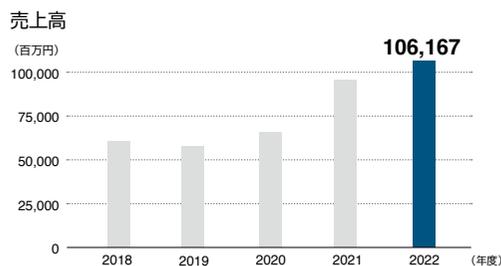
※詳細は[ウェブサイト](#)の有価証券報告書をご覧ください。



▷ P.80~81 連結財務諸表

連結業績指標		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	(百万円)	60,580	57,710	65,830	95,712	106,167
営業利益	(百万円)	3,724	4,617	11,339	26,642	32,288
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	2,284	2,734	5,329	16,669	20,685
1株当たり当期純利益 (EPS)	(円)	37.73	45.05	87.60	274.61	350.62
総資産	(百万円)	87,586	86,279	95,201	128,785	126,379
自己資本比率	(%)	56.0	57.5	56.0	49.5	57.7
EBITDA	(百万円)	9,680	10,786	17,590	32,478	39,101
ROIC	(%)	3.3	4.4	11.4	22.5	24.4
ROE	(%)	4.6	5.5	10.4	28.5	30.3

※(株)京都セミコンダクターのバランスシートを、2022年3月末から連結しており、PPA(取得原価配分)完了に伴う影響を2022年3月末に遡及的に反映しています。

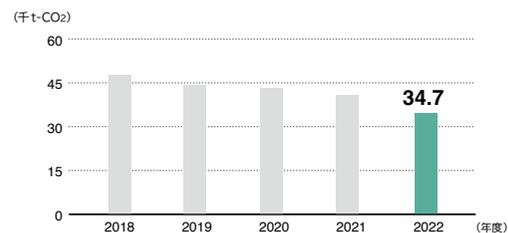


▷ P.82-83 非財務データ

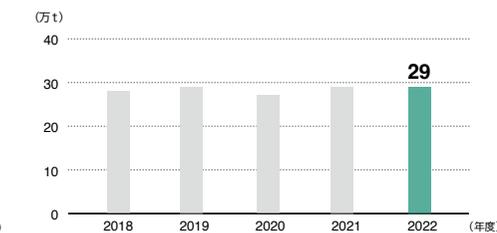
# Non-financial Highlights

非財務指標		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
CO <sub>2</sub> 排出量 (Scope1 + Scope2)	(千t-CO <sub>2</sub> )	47.6	44.2	43.0	40.7	34.7
▷ P.46-49 TCFD提言に基づく情報開示						
水使用量	(万t)	28	29	27	29	29
廃棄物排出量	(万t)	0.29	0.26	0.25	0.29	0.26
VOC排出量	(t)	46	37	36	34	30
従業員数 (連結)	(人)	2,005	1,999	1,772	1,915	1,943
(単体)	(人)	1,603	1,604	1,313	1,342	1,378
役員構成 (総数/うち社外/うち女性)	(人)	10 / 7 / 2	10 / 6 / 1	9 / 6 / 1	7 / 4 / 1	7 / 4 / 1
障がい者雇用率	(%)	3.40	3.40	3.37	3.30	2.68
有給休暇平均取得率	(%)	67.2	68.4	60.0	58.9	72.7
有給休暇取得平均日数	(日)	15.3	15.7	13.7	12.8	16.3

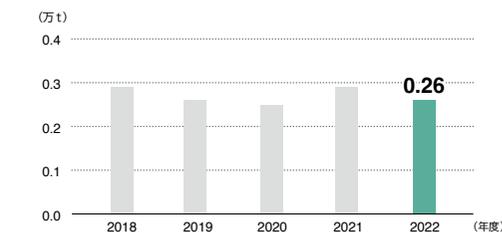
CO<sub>2</sub>排出量



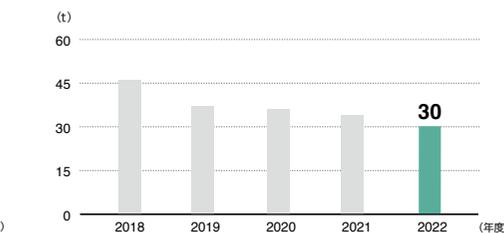
水使用量



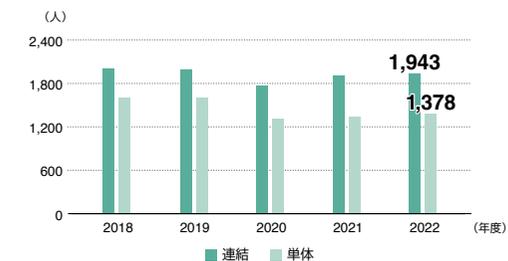
廃棄物排出量



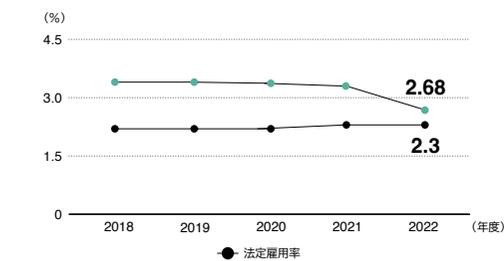
VOC排出量



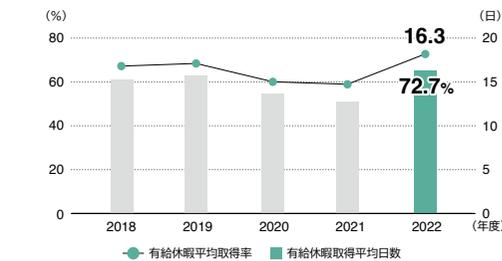
従業員数 (連結/単体)



障がい者雇用率



有給休暇平均取得率/有給休暇取得平均日数



女性管理職数・女性管理職比率

